エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1	1 事業者等の概要												
氏》	氏名又は名称 松本ガス株式会社												
1	代表者名	氏	名	清水	k 是昭			役職名	取締役社	長			
	たる事務所の所在地		90-8	711	松本市	渚2丁目7番	9号						
車	************************************		条/	例施	行規則第	515条第2項に	該当する	5小売電気	元事業者				
丁 ;	業者の区グ	π	そ,	— の他	の事業者								
主	たる事業 <i>0</i> 概要	の 弊	小売電 弊社に ってい	は、訓	調達先かり	ら電力を購入	、し、主に	こ家庭用	需要家へ6	の電力小売事	業を		
電	電力供給量 (総量)			2, 129	9	千kWh		供給量 野県)	2	2, 129	千kWh		
2	計画期間	及び報	告対	象年	度								
	画期間	2020			度 ~	2022	年度	報告対	才象年度	2022	年度		
3	3 公表方法等												
ホームページ													
>		副物の閲 場所・時間				松本ガス株式会社 受付 (松本市渚2丁目7番9号) 9:00~16:30							
		その他	_										

4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

■電源調達先に依頼している取組方針

- ① 電源構成において、天然ガス/都市ガス利用の可能な限りの拡大を図ります。
- ② 自治体の一般廃棄物発電や再生可能エネルギーからの電力調達に努力します。
- ③ 契約している発電所の運転効率が高まるような運転を指向します。
- ■お客様への取組方針
- ① お客様の省エネルギーに資するためのデータ提供等を推進します。
- ■その他の温暖化対策に係る取組方針
- ① 弊社事務所内のエネルギー消費量を削減する努力を行います。

■弊社事業に係る推進体制 ① 電源調達元に対し、発電所の発電効率向上、CO2排出量の把握、再生可能エネルギーによる発電からの電力購入等の当該対策を営業部にて構築する。 ■その他の温暖化対策に係る推進体制 ① 需要家への節電の申し入れや情報提供を営業部で構築する。 ② 温暖化対策に関する立案や方策を検討する体制を営業部で構築する。	
■弊社事業に係る推進体制	
■弊社事業に係る推進体制	5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制
	■弊社事業に係る推進体制 ① 電源調達先に対し、発電所の発電効率向上、CO2排出量の把握、再生可能エネルギーによる発電からの電力購入等の当該対策を営業部にて構築する。 ■その他の温暖化対策に係る推進体制 ① 需要家への節電の申し入れや情報提供を営業部で構築する。

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の抑制に関する目標等

О	レトルローノ	0 - 1//	- \	一の製垣寺に住い排出され	の一段に次条・グが前に大	1) 2 H W 4			
基	準	年	度	基礎排出係数	0. 000502	t-CO2/kWh			
	2019	年度	:	調整後排出係数	0. 000453	t-CO2/kWh			
目	標	年	度	目標排出係数	0. 000447	t-CO2/kWh			
	2022	年度	:	目標削減率	10. 96	%			
	目標記	没定に 5説明		② 再生可能エネルギー	る電力供給量の拡大に努る による発電からの購入にする 活動をより推進していく。	努めます。			
	第一	在庶		基礎排出係数	0. 000447	t-CO2/kWh			
	21.7	一 及		調整後排出係数	0. 000392	t-CO2/kWh			
	2020	年度		エネルギーの製造等に 伴い排出されたCO2量	0.416	千t-C02			
	排出係 増減			所属するバランシンググ を調達したため減少しま		奴の 似い。			
	第二	年度		基礎排出係数	0. 000364	t-CO2/kWh			
	>1 v —			調整後排出係数	0.000308	t-CO2/kWh			
	2021	年度	:	エネルギーの製造等に 伴い排出されたCO2量	0.80	千t-C02			
	排出係 増減			所属するバランシンググ を調達したため減少しま		数の低い電源			
	第二 左 库			基礎排出係数	0. 000437	t-CO2/kWh			
第三年度				調整後排出係数 0.000437 t-C02/k					
	2022	年度	:	エネルギーの製造等に 伴い排出されたCO2量	0. 93	千t-C02			
	排出係 増減			他社のバランシンググル・ 通じて排出係数の低い電					

7 上記6の目標を達成するための措置

- ■電源調達先に依頼している取組方針
- ・自治体清掃工場における一般廃棄物発電、工場廃熱利用での発電などからの電力調達が出来るよう更に努力します。
- ・稼動する契約発電所においては可能な範囲で高効率化運転となる(負荷率の高い)指令を指向し ます。
- ・温暖化効果ガスの排出量削減に努めるよう促します。

8 調達する電気の電源構成に関する見通しと実績

8 調達する電気 区分		ツ电你得以	に関		見通しと実績		温 持			
$\triangle \mathcal{N}$				l	訓座りる 电刈	ツ电	你們			
基準年度		石炭火力	21	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	1	%
		LNG火力	24	%	水力	3	%	卸電力取引所 ^{※3}	21	%
2019	年度	石油火力	0	%	FIT電気 ^{※2}	14	%	その他(他社との相対取引・インバランス電気等)	16	%
最終にお		石炭火力	24	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	3	%
見通		LNG火力	26	%	水力	3	%	卸電力取引所※3	14	%
2022	年度	石油火力	0	%	FIT電気 ^{※2}	19	%	その他(他社との相対取引・インバランス電気等)	11	%
第一组	年度	石炭火力	23	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	3. 3	%
71		LNG火力	20	%	水力	3. 6	%	卸電力取引所※3	13	%
2020	年度	石油火力	0	%	FIT電気 ^{※2}	18	%	その他(他社との相対取引・インバランス電気等)	19	%
第二年	在庶	石炭火力	27	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	0.6	%
N7 —	T/X	LNG火力	28	%	水力	2. 2	%	卸電力取引所※3	25	%
2021	年度	石油火力	2. 4	%	FIT電気 ^{※2}	5. 9	%	その他(インバランス電気等)	9	%
第三年	任庇	石炭火力	6. 6	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	8. 1	%
<i>γ</i> 17 — -	十尺	LNG火力	18	%	水力	11	%	卸電力取引所※3	22	%
2022	年度	石油火力	0. 3	%	FIT電気 ^{※2}	12	%	その他 (インバランス電気等)	23	%
備	考									

^{※1 「}最終年度における見通し」欄には、基準年度時点における事業者の電気の調達計画等の見通しに基づき、特定期間の最終年度を算定期間とする電源構成の概算の見込み割合を記載する。

^{※2 「}FIT電気」とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく認定施設から買い取られた電気で、その調達費用の一部が全電気利用者が負担する賦課金により賄われている電気を指す。

³ 「卸電力取引所」とは、電力の卸取引を行う取引所であって、電気事業法第97条第 1 項に規定される指定を受けた 卸電力取引所を指す。

9の1 再生可能エネルギー源により発電された電気の調達量に関する見通しと実績										
		調道	崔量		再生可能エネルギー源の種類(内訳) 種類別調達量					
区分			県内分	}	電源	再生可能エイ 電気(FIT電気	ルキー	調達重 FIT電気	Ī.	
					太陽光	0	千kWh	2	千kWh	
甘淮左南					風力	0	千kWh	0	千kWh	
基準年度	77	千kWh	77	千kWh	水力	12	千kWh	42	千kWh	
		1 1 1 1 1 1		1 111111	バイオマス	4	千kWh	17	千kWh	
<mark>2019</mark> 年度					その他 ()	0	千kWh	0	千kWh	
目幼兄虫					太陽光	1	千kWh	64		
最終年度 における					風力	0	千kWh	6	,	
見通し	2, 619	千kWh	2, 619	千kWh	水力	308		1, 263		
					バイオマス	330	千kWh	645	千kWh	
2022 年度					その他 ()	0	千kWh	0	,	
					太陽光	0	•		千kWh	
第一年度					風力	0	千kWh	0	1 1111	
弗一年度	229	千kWh	229	千kWh	水力	33		110		
					バイオマス	30	千kWh	50	千kWh	
2020 年度					その他 ()	0	,		千kWh	
				千kWh	太陽光	0			千kWh	
第二年度		千kWh	0		風力	0	千kWh	0	1 1111	
,,, , , , , , ,	182				水力	51	千kWh		千kWh	
	102				バイオマス	6	千kWh	107	千kWh	
2021 年度					その他 ()	0	,		千kWh	
					太陽光	2			千kWh	
第三年度					風力	0	千kWh	0	1 1111	
	675	千kWh	0	千kWh	水力	237			千kWh	
	-				バイオマス その他	144	千kWh	194	千kWh	
2022 年度					(他社から卸売を受け 発電所が特定できない 電気)	30	千kWh	22	千kWh	
備考			iしている取紀 ・による発電/		重力の調達に	努めます。				

9の2 再生可能エネルギーの普及・供給拡大に関する取組
■電源調達先に依頼している取組方針・再生可能エネルギー電源からの電力調達に努めます。
10 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出抑制の研究と取組
■電源調達先に依頼している取組方針・電源調達先発電所の熱効率向上に向けて、より効率の良い運転・制御方法について協議・検討を推進します。

11 需要家の省エネルギー対策の推進に関する取組

	区分		実施内容
高 効 率 普 及	3 機 器 促	の進	・お客さまへの省エネソリューション提案活動を行える体制を整備します。
省エオ	事 業 者 、ル ギ 、の 協	_	・長野県の「家庭の省エネサポート制度」に参加し、お客様との接 点業務機会を活用して、各家庭での省エネルギーの推進を支援して います。
そ	の 他		

※ 需要家に対して節電や省エネを誘導する料金体系を導入している場合は、「その他」に記載する。

12の1 地域との連携に関する取組の実施状況

基実						・夏場のエアコン設定温度上げなど、空調設定のこまめな調整により 節電に努めました。 ・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。 ・室内照明について、間引きや不要時の消灯を努めました。
第		年	度	実	績	・夏場のエアコン設定温度上げなど、空調設定のこまめな調整により節電に努めました。 ・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。 ・室内照明について、間引きや不要時の消灯を努めました。
第		年	度	実	績	・夏場のエアコン設定温度上げなど、空調設定のこまめな調整により節電に努めました。 ・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。 ・室内照明について、間引きや不要時の消灯を努めました。
第	=	年	度	実	績	・夏場のエアコン設定温度上げなど、空調設定のこまめな調整により節電に努めました。 ・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。 ・室内照明について、間引きや不要時の消灯を努めました。

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

		区	分			実施内容
基実						・夏場のエアコン設定温度上げなど、空調設定のこまめな調整により 節電に努めました。 ・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。 ・室内照明について、間引きや不要時の消灯を努めました。
第	_	年	度	実	績	・夏場のエアコン設定温度上げなど、空調設定のこまめな調整により 節電に努めました。 ・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。 ・室内照明について、間引きや不要時の消灯を努めました。
第	11	年	度	実	績	・事務所の改築による、建物の高気密高断熱化や太陽光発電設置、 LED照明の設置など消費エネルギーの削減を行いました。 ・夏場のエアコン設定温度上げなど、空調設定のこまめな調整により 節電に努めました。 ・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。 ・室内照明について、間引きや不要時の消灯を努めました。
第	11.	年	度	実	績	・事務所の改築による、建物の高気密高断熱化や太陽光発電設置、 LED照明の設置など消費エネルギーの削減を行いました。 ・夏場のエアコン設定温度上げなど、空調設定のこまめな調整により 節電に努めました。 ・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。 ・室内照明について、間引きや不要時の消灯を努めました。

1 3	自由記載欄